

第 3 部

基本構想

まちづくりの重点戦略及び戦略プログラム

【まちづくりの重点戦略・戦略プログラムの設定】

本市を取り巻く社会経済情勢や本市が持つ強み・弱み、課題と市民ニーズ等を踏まえ、特に重点的に推し進めていくべき取組を、『経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る』、『安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る』、『多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る』という3つの『重点戦略』として掲げました。

その下に、重点戦略を効果的・効率的に達成するための柱となる9つの『戦略プログラム』を配置し、赤磐市全体で分野横断的・組織横断的に連携しながら各施策を推進していきます。

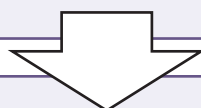
【重点戦略Ⅰ】経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る

【現状と課題】

現在は、若者に魅力的で安定した収入につながる高付加価値産業が少なく、このことが若者の転出につながる一つの要因となっています。

生産年齢人口が減少していく中で、若者世代の転出を食い止めつつ新たな転入を促し、地域経済の活力を取り戻すためには、今まで以上に、若者が地域において産業・社会の担い手として能力を発揮できる環境を創ることが重要です。

全国的にも名の知られた付加価値の高い商品を生産している農業は、まさに赤磐市の基幹産業といえます。しかし、年々販売農家数の減少や農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加が進んでいます。



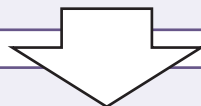
【目指す姿】

定住人口や交流人口の増加が進む、賑わいと活気があるまちの形成を目指します。

地域に形成されている産業基盤をベースにした産業振興を基本路線として、産業面における幅広い支援や関連する都市基盤整備を推進していくことで、既存産業の活性化や新たな企業立地等により、高付加価値を生む産業の創出を促進し、地域に安定的で良質な雇用を確保します。

持続可能な農業の実現を目指します。

安定的な所得確保が得られる力強い農業の確立を支援し、新たな担い手確保によって世代間バランスのとれた従事者構造を図ります。



【戦略プログラム～目指す姿の実現に向けて～】

- 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム
- 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム
- 強い農業の確立プログラム

【戦略プログラム】企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 企業ニーズを踏まえた新たな用地確保
- ② 多様なライフスタイルに対応した雇用の場の確保及び新規立地企業への雇用の支援
- ③ 地域の若者の定着、Uターンによる人材の確保が図れる企業の誘致
- ④ 市のイメージアップや誘客が期待できる企業の誘致

【戦略プログラム】商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 交流・連携等による地域産業の活性化(生産性向上、高付加価値化等)、地域イノベーションの創出促進
- ② 農、食、自然、歴史・文化、スポーツ等、点在する観光資源の最適化による周遊できる観光ルートの形成と受入れ環境の整備促進・情報発信
- ③ 創業と継続のための包括的な支援
- ④ 地域産業の振興による所得の向上と人口の増加推進
- ⑤ 地域資源の掘り起こし推進

【戦略プログラム】強い農業の確立プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 優れた経営感覚を備えた地域農業リーダーや新たな担い手の確保・育成の推進
- ② 農産物の高付加価値化、地域ブランド化の推進による生産者の所得向上
- ③ 地域で農産品の生産から加工・流通までを行う6次産業化の推進
- ④ 農産物の市場開拓・販路拡大
- ⑤ 農業経営の法人化、集落営農の組織化等、営農指導体制の強化及び生産・流通体制の強化促進
- ⑥ 遊休農地、耕作放棄地等の農地・園地の保全・集約等積極的な利活用
- ⑦ 次世代施設園芸拠点の整備とスマート農業の推進
- ⑧ 産官学の連携推進

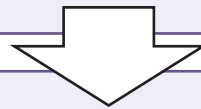
【重点戦略 II】安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る

【現状と課題】

若者世代の未婚率の上昇、晩婚化、晩産化は少子化の要因の一つとなっています。国の調査によると、結婚が実現しない背景には、「適当な相手に巡り合わない」といった理由のほかに、「雇用の不安定さや所得が低いことによりライフデザインが描けない」ことも理由であることが指摘されています。

また、結婚後に理想の子ども数を持たない理由として、「子育てや教育に要する費用負担」を挙げる人の割合が高く、就業している女性のうち約6割が、第1子出産を機に離職しているなど、子育て期の女性の就業率は低い現状にあります。

長時間労働や転勤、産前産後・育児休業の取得に関する不利益な扱い等の雇用環境面の問題は、仕事と子育ての両立を難しくし、希望どおりに子どもを持つことを妨げる要因となっているほか、男女の固定的な家事・育児の役割意識、男性の育児休業の低取得率、核家族の増加や地域コミュニティの希薄化による周囲で子育て世帯を支える力の弱体化等の生活環境面の問題は、妊産婦・母親が抱える育児負担の増加や育児不安の要因にもなっています。



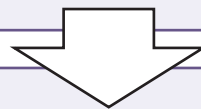
【目指す姿】

「赤磐市で子どもを産み育てたい」という気持ちを抱いてもらえる子育て環境の良さを地域全体で創り上げていくことを目指します。

子どもは赤磐市の未来を担う宝であり、子どもが元気なまちは、希望にあふれた活気のあるまちへとつながるため、「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを基本に家庭、地域、学校、企業、NPO、医療機関等の多様な関係者が共通の認識や目標を持ち、しっかりと手を携えて子育てを地域ぐるみで切れ目なく支えることにより、出産・子育てに理解のある雇用環境や生活環境を創出します。

郷土に誇りと愛着を持ち、未来に向かって限りない可能性を切り開いていける人材を育成できる学校・地域を目指します。

教育環境の良いところで子どもを育てたいという希望をかなえるため、子どもが落ち着いて学習できる環境、豊かな心とたくましく生きる力を健やかに育んでいける環境を創出します。



【戦略プログラム～目指す姿の実現に向けて～】

- 安心して家庭を築ける環境創出プログラム
- 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム
- 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム

【戦略プログラム】安心して家庭を築ける環境創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 良質な雇用の創出による子育て世代の経済的安定
- ② 結婚に結びつく出会いの支援
- ③ 多様化する生活様式と住宅ニーズに対応した居住環境の充実
- ④ 魅力ある多様な就業機会の創出による女性の活躍推進と経済的安定
- ⑤ 若者の地元就職の促進、UIターンによる赤磐市内への就職促進

【戦略プログラム】安心して出産・子育てができる環境創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 妊娠、出産、子どものけが・病気、育児不安等に関する相談体制の充実と情報提供の推進による安心して子育てができる環境の整備促進
- ② 多様な保育ニーズに対応できる子育て支援サービスの充実
- ③ 地域の周産期医療、小児救急医療体制の維持
- ④ 親同士の交流が促進できる子育てネットワークの形成
- ⑤ 仕事と子育てが両立できる職場環境づくり支援(ワーク・ライフ・バランス)

【戦略プログラム】子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 学習意欲の向上と発達段階に応じた確かな学力の向上・定着が図れる教育環境整備の推進
- ② 豊かな心の育成とふれあいのある学校・就学前教育の推進・充実による心身ともに健康な幼児、児童、生徒の育成
- ③ 家庭教育における教育機能の充実
- ④ 特色のある学校・幼稚園づくりの推進
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 人間尊重を基盤とした人権教育・命の教育の推進
- ⑦ 家庭、地域、保育園・幼稚園・こども園・学校の連携推進
- ⑧ 郷土の価値、魅力を発見・再認識できる教育活動の推進

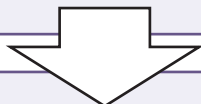
【重点戦略Ⅲ】多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る

【現状と課題】

地域に若者が定住しなくなると少子高齢化がますます加速し、経済規模の縮小や地域コミュニティの衰退により、地域の活力が失われてしまいます。

今後、人口減少が見込まれる地域では、住民の生活に必要な医療・介護、福祉、教育、買い物、公共交通等のサービス機能の提供が難しくなることが予想されます。

持続的な地域であるためには、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わりなく、だれもがまちづくりに参画でき、その個性と能力を発揮できることが必要です。



【目指す姿】

人口増加により地域の活性化が図られたまちの形成を目指します。

安心して暮らし続けることのできる良好な定住環境の創造等、特に子育て世代の地域への定住促進や移住・定住受入促進に向けた取組を進めます。

人と人のつながりにより支えあうことのできる地域の実現を目指します。

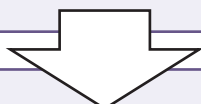
住み慣れた地域で快適に住み続けられるよう、地域・市内にあるものは地域・市内で充足させ、ないものは近隣市町との連携により、充足させることを基本に、地域住民、非営利団体・法人、民間企業、行政等多様な主体のネットワークにより効果的・効率的にサービスが提供できる持続可能な体制を構築します。

すべての人が社会に参画できる地域社会の形成を目指します。

働く意欲を持った高齢者の就労支援や高齢者が、地域の支え手として、地域活動等に参画できる体制を整備することで、高齢者の生きがいを進めるとともに、その豊富な知識、熟練した技術・技能の若い世代への継承を図ります。

健康なうちから介護・医療が必要となる時期まで、健康増進や医療・福祉サービス等の継続的なケアや生活支援サービスを受けることのできる包括的なケア体制の整備を促進します。

障がい者等、手助けを必要としている人に対して、住まい、学び、医療・介護サービス、健康支援、社会参加、就労等の必要な支援が一元的又は連携して提供できる体制を整えます。



【戦略プログラム～目指す姿の実現に向けて～】

- 移住・定住が進むまち創出プログラム
- 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム
- 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム

【戦略プログラム】移住・定住が進むまち創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 赤磐市の魅力の積極的な情報発信
- ② 雇用や暮らしの情報提供体制・相談体制等、移住をサポートする体制の充実
- ③ 交通利便性やキャパシティ等、大型住宅団地の優位性を活かした移住・定住の促進
- ④ 空家の利活用による移住・定住の促進
- ⑤ 農業体験等を通じた都市部等からの新規就農の促進
- ⑥ 就農と居住をパッケージ化した移住・定住の促進
- ⑦ 企業誘致、産業振興による働く場の確保

【戦略プログラム】支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 世代、性別、障がいの有無、国籍等に関係なく支えあうことができる地域コミュニティの維持・育成
- ② まちづくりを担う人材の確保・支援
- ③ 市民、NPO、企業、行政等、だれもが連携・協働してまちづくりに参画できる体制の推進
- ④ 地域における小さな拠点の形成と周辺集落とのネットワークの形成
- ⑤ 社会貢献活動やコミュニティビジネスへの支援
- ⑥ 公共交通網の維持

【戦略プログラム】高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム

（施策展開の方向性）

- ① 就労、学習活動、スポーツ活動、地域活動等の社会参加促進と次世代への知識・技能の継承推進
- ② 心と体の健康増進による生涯を通して健やかに暮らせる生活の質の向上
- ③ 健康時から終末期まで可能な限り住み慣れた地域で暮らしていける、地域での支えあいによる包括的なケア体制の充実（介護予防、日常生活支援、医療等）
- ④ 医師や医療従事者の確保による地域医療体制と広域的な医療連携体制の維持